



会社名 株式会社 ソ ケ ッ ツ
代表者名 代表取締役社長 浦部 浩 司
(コード番号:3634 東証スタンダード市場)
問合せ先 コーポレートプランニング室 室長 川 瀬 尚 子
(TEL. 03-5785-5518)

当社は、2025 年 3 月期第 4 四半期において、下記のとおり貸倒引当金繰入額の計上及び特別損失を計上するとともに、2024 年 5 月 10 日に公表いたしました 2025 年 3 月期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の通期業績予想と本日公表の同実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、関係会社への貸付金に対して財政状態及び経営成績を勘案した結果、将来リスクを見越し関係会社貸付金に係る貸倒引当金繰入額として3百万円を営業外費用として計上いたしました。

当社が保有する固定資産の一部について、次期以降を見据えた上で、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、16 百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年5月10日発表)	百万円 1,170	百万円 15	百万円 15	百万円 8	円 銭 3.51
実績値(B)	1,039	△76	△80	△139	△56.73
増減額(B-A)	△130	△91	△95	△147	
増減率(%)	△11.1%	—	—	—	
(参考)前期実績 (2024年3月期)	1,018	△79	△78	△100	△40.88

当期において売上に関しては音楽データサービスと感性マーケティングサービスが前年を上回り好調であった一方で、映像データサービスにおきまして、主に第四半期の大型案件失注により前年を下回る結果となりました。また営業利益におきましては、映像データサービスの計画未達の影響と合わせ、第四半期においておこなった海外とのデータ取引に関する一時的かつ一括した原価計上や感性マーケティングサービスへの投資先行、感性AI開発など次期以降に向けた事業基盤の整備と強化をおこない業績予想値に対して未達成となりました。以上の結果として売上高は前回公表値に対して11.1%減少し、営業利益、経常利益も前回公表値を下回りました。当期純損失につきましては、次期以降を見据えた基本方

針のもと、関係会社貸付金に係る貸倒引当金繰入額（3 百万円）、支払精算金としての著作権使用料の追加支払い(51 百万円)および固定資産の減損(16 百万円)を計上したことなどにより、当期純損失は139 百万円となり、前回公表値を下回りました。今後より一層足場を固めコストコントロールを行い次期における収益基盤の改善を断行しつつ将来へ向けた種まきを積極的に行なってまいります。

なお、本資料に関する詳細につきましては、同日付で公表しております「2025年3月期決算説明資料」をご参照ください。

以 上